

多摩市長選挙・市議会議員補欠選挙

仮想「立候補予定者」との市民「対話集会」

日時 2018年3月31日 場所 多摩市立永山公民館ホール

主催 多摩市の社会教育を考える会

<第1部 各グループでの討議>

立候補予定者におけた

「多摩市政一特に社会教育施設に関するアンケート」に

市民として回答

(2018年4月11日発行)

多摩市政一特に社会教育施設に関するアンケート回答書

Aグループ

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは、多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

- ◆市民の声にこたえるまち。
- ◆安心して子育てのできる町。
- ◆市民の声にこたえ、安心して子育てできる町。高齢者も健康に暮らせる町。社会教育施設が大事。市民の心身、健康を支える。やり直しができ、学びができる。
- ◆緑あふれる多摩市は、このままで、幼子から高齢者まで、つまり保育園から老人ホームまで、過ごせる町づくりをお願いします。
- ◆若い人が魅力を感じ、子育てし、永く住みつけたいと思う街。
- ◆若い人、高齢者の方も安心して住めるまちにしたい。
- ◆団体登録をするとき、名簿の提出は、結社の自由権を真っ向から侵害するものだと思います。

地方自治体で市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのようにお考えですか。

- ◆市民の心身の健康を支える。
- ◆いろいろ積極的に、ただし、強制的なもの退廃的なものは除く。
- ◆誰でも、いつでも、どんな状況でも学べる、やり直しができるまちにしたい。

2. 多摩市政一特に社会教育施設の現状について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

- ◆行政が表明した施策を市民の声でかえたのは、素晴らしい。
- ◆公民館や図書館、コミュニティ館などがあり、それぞれ活用されている。
- ◆何回も実施したアンケートに示されたように、多くの市民が地域図書館の存続を願っている、それを実現しようと努力していることに期待する。
- ◆公民館が二つしかないのに、それを一つにしてしまうと、使うことができなくなる。やはり、二つ以上にしてほしい。
- ◆これまで図書館が、各地域に出来てきて、子どもたちも大人も高齢者も本を読む環境が出来てきた。これは健やかに成長し、元気でくらししていくためには大切な生活基盤、これを今後も発展させていきたい。
- ◆図書館政策は、まちの発展に沿って市民要求によって整備されてきたことは、良かったこと。

評価できないところ

- ◆市民アンケートを取りながら、そのアンケート結果を活かさない行政はおかしい。
- ◆行政トップが、決めた施策を職員が実施に移さないのはおかしい。トップはチェックを。
- ◆社会教育施設が、すべての市民に知られているのか。上手に使われているのか。市の財政的援助が充分か。
- ◆自治体の仕事の中で市民の健幸というなら、市民の学習、文化、スポーツ活動を支えることは、重点政策に位置づけるべきでしょう。それを削減するなんて、言っていることに反する。
- ◆言行一致で市政をすすめてほしい。そうすれば若い人たちもきっと住みたくなるでしょう。今は、多摩市にそういう人が帰ってきているそうよ。

3. あなたが当選したら、多摩市政一特に社会教育施設をどのようにしたいとお考えですか。

- ◆地域図書館をはじめ各地域の中心となる施設を維持し、地域の活性化を大切にする。駅周辺ばかりにお金を投入するのはまずい。
- ◆市民のニーズに合った社会教育施設を市民と協力しながら、つくりたい。

4. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。この条例に対してどのようにお考えですか。

③何ともいえない。

◆図書館の利用状況、○○ないと何ともいえない。存在意義についての○○も市民側としてはもっと必要ではないか。ネット化の○○どう反論していくか。

7. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等）を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。財政全体から見て、PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）や、業務の民間委託は、有効であるとお考えですか。さらに、その場合、社会教育施設のサービスの質はどのように保証したらいいとお考えですか。

◆PFIが時代の流れとは思えない。公共施設が市民の財産であるという○○であるから出発した議論が求められる。⇒合理化で削られるものの先に何があるのか。ツタヤの例をみて、活かす必要がある。
◆民間委託＝安価、とはいえない。当初10年間で90億必要、だから公共施設はこのまま維持できないと廃止を打ち出した。しかし、現在は「お金は大丈夫」という。市民に分かるように説明してほしい。

Bグループ

2. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは、多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

- ◆ 文化香る人間都市 国際平和都市
- ◆ のんびりと和気あいあい 排除されない
- ◆ 市民の声が反映される様に、政策策定の仕組みの整ったまち

地方自治体で市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのようにお考えですか。

2. 多摩市政一特に社会教育施設の現状について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

- ◆ 7館の図書館で、かなりよく全市をカバー
- ◆ 図書館を7館体制で作ってきているところ
- ◆ 図書館は8館あれば市民に均等

評価できないところ

- ◆ 公民館を減らそうとしていること
- ◆ もっと市民を大切にすべき

3. あなたが当選したら、多摩市政一特に社会教育施設をどのようにしたいとお考えですか。

- ◆ 社会教育が行われることで外部効果が生まれることが大切

4. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。この条例に対してどのようにお考えですか。

- ◆ 地方自治の主権者はひとりひとりの住民。そして、住民一人一人には、自由を学ぶことが権利として実現されることが、住民自治にとっても不可欠。主権と学習権は両輪
- ◆ 自治権推進委員会がもう少し機能できるようにするべきだと思う。（行政を中立的分析できるようにすると思う。）
- ◆ この条例があることが、市民にとって、同影響するのかわかっていない。
- ◆ 自治基本条例が守られていることを確かにする制度を作る（市民参加条例をつくること）
- ◆ 基本条例守っていくこと、厳密に尊重すること

5. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。以下の(1)(2)にお答えください。

(1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

①賛成である。	②反対である。	③何ともいえない。
<p>①賛成である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 変質させないように注意する必要がある(サービスの低下) ◆ 図書館本館をきちんと整備し、分館を活性化させること、特に唐木田は窓口業務委託を辞め、直営に戻すこと ◆ 図書館職員と市民の交流がもっと必要ではないか(友の会への協力参加) ◆ ちゃんと対話が行われていればよいことだと思う ◆ 今後の地域での話し合いでは、2017年の「基本構想」を尊重し、地域館の存続を明確にしてい <p>②反対である。</p> <p>③何ともいえない。</p>		

(2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。市民から2015年にも反対の意見表明が出されているにもかかわらず、利用者にも、市民全体にも、そのあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させていることについてどのようにお考えですか。

①賛成である。	②反対である。	③何ともいえない。
理由		
<p>①賛成である。</p> <p>②反対である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 関戸公民館は公民館として存続すべき ◆ 廃止を撤回し、もともとの公民館の在り方に戻していくべき <p>③何ともいえない。</p>		

6. 「多摩市立図書館本館再構築基本構想」が2017年2月に教育委員会で決定されました。それに基づき今年1月、「多摩市立図書館本館再整備基本計画検討委員会」が設置され、現在検討がすすめられています。図書館本館の再構築、再整備に向けての教育委員会の取り組みについてどのようにお考えですか。

①評価する。	②評価しない。	③何ともいえない。
理由		
<p>①評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ いろいろな市民、市民団体などにヒアリングをするなど、幅広く意見を聞きながら進めて行くことは素晴らしい ◆ 評価するが、地域館を弱体化しないように、本館との連携を確保。 ◆ 基本構想の策定も現在お「検討委員会」の進め方評価する ◆ 市の作成作りでは、これまでになく民主的。ヒアリング、パブリックコメントも十分に評価する。基本計画はまだよくわかっていませんが、構想は大変によい内容です。 <p>②評価しない。</p> <p>③何ともいえない。</p>		

7. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。財政全体から見て、PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)や、業務の民間委託は、有効であるとお考えですか。さらに、その場合、社会教育施設のサービスの質はどのように保証したらいいとお考えですか。

行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。市民から 2015 年にも反対の意見表明が出されているにもかかわらず、利用者にも、市民全体にも、そのあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させていることについてどのようにお考えですか。

①賛成である。 ②反対である。 ③何ともいえない。

②反対である。

◆使っている公民館なので廃止されると困る。

◆公民館は 2 館では足りないと思う。 公民館の利用者と話し合うべきです。

6. 「多摩市立図書館本館再構築基本構想」が 2017 年 2 月に教育委員会で決定されました。それに基づき今年 1 月、「多摩市立図書館本館再整備基本計画検討委員会」が設置され、現在検討がすすめられています。図書館本館の再構築、再整備に向けての教育委員会の取り組みについてどのようにお考えですか。

①評価する。 ②評価しない。 ③何ともいえない。

7. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等）を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。財政全体から見て、PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）や、業務の民間委託は、有効であるとお考えですか。さらに、その場合、社会教育施設のサービスの質はどのように保証したらいいとお考えですか。

C グループ・アンケート回答書「補足ノート

C グループではアンケートに沿っての討議は行われませんでした。その結果、質問 1 以外は、回答が（ほとんど）ついていません。討議は質問 1 に挙げられている回答を材料に行われました。それらの討議のうち内容が、質問 2 から質問 7 に関連するものになったものはありました。

質問 1 に挙げられた回答を実現するための費用について議論されました。「公園と緑の多いまち」、「歩道・車道がきちんと分離されたまち」、「図書館システムのきちんとしたまち」などを実現・維持するためには費用がかかることが議論されました。様々な要望があり、それらを全て、または一部でも実現することは財政的に難しいのではないかという意見も出てきました。

多摩市の財政状況について議論されました。現職市議会議員であるメンバーからは、「多摩市の財政状況は現在は悪くないが、市民の様々な要求を全て満たすことができるほど豊かではないし、将来の財政状況にも不安はあるだろう」という意見が出されました。行政は正確な財政状況を市民に随時説明する必要があるし、市議会議員の仕事の一つは、行政にそのような情報を出させることだという意見がありました。

「市議会議員の仕事は何か？」について議論されました。行政が市民に情報を出すように促すこと、市民の要望を行政に伝えること、は仕事のうちで大切なものであろうという意見が出ました。別の意見として「自分のやりたいことを実現するために市議会議員になり、主にその実現だけを目標に 4 年間やるような議員がいても良いのではないか」という意見もありました。

興味のないことについては知らないことが多いことに気づかされました。「大きな予算が多摩市立武道館の改修のためについた」という市議会議員メンバーからの報告に、テーブルにいた他のメンバーはそのことについて知りませんでした。武道館の存在自体について知らないメンバーもいました。

「自治基本条例」について議論はされませんでした。質問 1 の最後の回答は「自治基本条例が実践されているまち」と読めると思います。グループ討議の場ではありませんでしたが、最後に「自治基本条例についての勉強会があっても良い」とメンバーの一人が発言していました。

今回の対話集会は市民間の意見・情報交換をするのに良かったと思います。また、このような集会を開ける公共施設も大切と思いました。